

会費の全員納入とあわせて寄付金を

寄付金の全額を、研究教育支援基金として学生支援のために使っています

企画調整 G、会費納入促進 G
小野塚新（昭和 54 年電化卒）

1. 初めに

国大化学会維持のための会費納入および、学生支援を金銭面で支える寄付につき、多くの会員の方々にご協力いただき、感謝いたします。

現状と課題を以下に報告するとともに、さらに多くの会員の方々の会費納入と寄付をお願いいたします。

2. 会費・寄付納入の現状について

- (1) 会誌送付中の会員（約 4,000 人）のうち、25%（1,059 人）が会費を支払い、国大化学会運営を支えている
- (2) 会費（約 425 万円）は、一般会計に充当し、主に会誌発行、総会開催および運営経費に支出。
毎年 60 万円以上の赤字（会費 300 人分）
- (3) 寄付金（約 60 万円）は全額、教育研究支援基金に充当し、学生への金銭的支援に支出。
毎年 60 万円以上赤字（600 口分）
会費および教育研究支援基金ともに支出が収入を

上回る状態が続いており、先輩方の遺産を取り崩しているのが現状です。さらに多くの会員の方々の会費納入と寄付が、国大化学会の存続と発展に不可欠です。

3. 会費徴収方法ほかの課題について

2014 年 10 月に校友会が大学主導で設立され、校友会費（2 万円）を入学時に一括納入としたのを機に、同窓会費についても、3 万円を入学時に一括納入していただくことにいたしました。

しかしながら、納入実績が入学者の 40% 弱であることから、この納入率向上および、現行の会費納入方式との整合などの課題が生じています。

4. 会費納入率向上へ対策案

上記の状況を踏まえて、以下のような対策案を、役員を中心に検討中であり、順次実施していきます。会員の皆様のご意見をぜひ、国大化学会（yokochem@ynu.ac.jp）にお寄せください。

(1) 会員証発行	<ul style="list-style-type: none">・ 合計 30,000 円以上の会費納入者に国大化学会会員証発行・ 会員証提示者は、総会懇親会費等を値引き（値引分は寄付を依頼）
(2) 広報充実	<ul style="list-style-type: none">・ （学生）入学時オリエンテーション、EP 配属時など機会をとらえて活動紹介・ （卒業生）HP に総会まとめ資料を掲載
(3) 懇親ツアー	<ul style="list-style-type: none">・ 在学中のメリット、会費に見合う活動の充実・ EP 配属時の懇親ツアー・ 参加料と同時に会費振込みを要請（卒業生も参加し、交流する）
(4) 学生支援事業（継続）	<ul style="list-style-type: none">・ OB・OG 企業訪問、OB・OG と語る会（キャリア形成支援）・ 成績優秀者表彰副賞（研究レベル向上支援）・ 学会参加費支援（研究レベル向上支援）・ ドクターコース進学支援（大学の評価向上にも寄与）